

てらこや便り わあい♪

2026. 9. 8 No.131

2学期スタート♪今週20人全員無事に戻ってきてうれしい。毎年思うのだけど、夏休み明けは魔法のようにみんな背が伸びてぐんと大きくなったのを感じる。今年も然り！さて、夏休み最後に10日間の瞑想合宿に参加し、「平静な心で、ただただ見る」ということを体感してきた。誰ともしやべらずスマホも筆記用具もなくひたすら自分と向き合う日々。食べることも歩くことも全てに意識が宿る。あらためて静寂の持つ力を感じた。人生で大事にしたいこと、自分自身についてもたくさんの気づきがあった10日間だった。あ、何もすることがないと人は歯磨きをちゃんとするのもわかった笑。あとマグロみたいに動いていないと私はダメだということも。そして4日目に心の声に従って「明日もう帰ります！」と宣言して先生に止められた根性なしの私のこともこっそり告白・・・苦笑

	月	火	水	木	金	土
		1 2学期 スタート♪	2 夏休みのプラン 発表会 ①	3 夏休みのプラン 発表会 ②	4 夏休みのプラン 発表会 ③	5
6	7 紙芝居	8	9 ○	10	11 ○	12
13 あるよ ユナる おめい やへ	14 このあたりで ミニはじまりの会	15	16 ○	17	18 ○	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25 ○ 中秋の名月	26
27	28 ひとつの時間	29	30 ○		9月 	

○ 今月のおむすびの日 (緑色の日) 4, 9, 11, 16, 18, 25, 30日 ○青字・・・誕生日 \(`o`)／

夏休みのプラン、こんなことしたよ

こどもたちが夏休みに取り組んだプラン！その作品の一部を9月いっぱい、てらこやに展示します。どうぞご覧ください。ひとりひとりの子の今や興味関心が見えて、てらこやのこどもたちとぐんと距離が縮まりますよ～(´▽`) 例年同様、感想のおたよりを書いて入れるポストもあるので、よかったらこどもたちへのおたよりもどうぞ！お待ちしております♪

2学期の予定

- 10月上旬 久住登山(1泊もしくは2泊)
予算一人あたり約6,000～8,000円
- 11月上旬 修学旅行(九州方面)

サマースクール交通費を9月分の月謝と一緒に集めます。(一人あたり500円蛇喰岩2回、梅津の滝1回計3回。日程はわあい♪前号を参照してください。)参加した回数分をお願いします。

キッチンスタッフ よしみさんの essay

夏休み中にまた両親の様子見に行ってきた。ちょうどその時、お盆休みで帰省した弟(普段は単身赴任で遠くに居る)が思いがけず実家に顔を出した。直接会うのは何年振り？って言うくらい出会っていなかったから会話もぎこちない(汗)両親を挟んで数十分、帰りがけに彼が突然、家族四人だけで揃うの最後かも知れんから写真撮ろう！って縁起でもないがこれもタイミングなので素直に記念の一枚。本当に他の誰もいない四人だけなんて奇跡的だ、高校までは一緒に暮らしていたけど…いつ振りだろうあまりにも昔すぎて思い出せない。弟を見送った後なんとなく家族って何だろう？って考えた。そんな中 父との会話で母に対する思いや父自身の人生について少し知ることがあった。今あった事を直ぐに忘れてしまったり怪我をして少しづつ体の動きが不自由になって行くのを目の当たりにして、少し不安そうに自分と一緒に母の人生は幸せだったのかと呟っていた。聞き流しても良かったのかもしれないけれど、とても切実な心の声のように私に響いた。母に確認してみたくなったが、その前に じゃあ父は？と聞いてみた。即答で 俺はとても「幸せ」な人生だった、好きな事(自営業)を思う通り存分にできたと、その言葉の裏には母の存在があってこそだけど、自分だけがそう思っているのかもと。で、続いて母に聞いてみたらその答えは、そんな聞かんでも分かるやろ一当たり前や！と笑顔で言っていた。それを聞いて安堵している背中が小さく見えて少し切なかったけど、良かったね。そう言えば弟が結婚して暫くした時にお嫁さん(義妹)から聞いたんだけど、彼の理想の夫婦は両親だって言っていたのを思い出した。意外だった、反抗期からこっち両親に向かって(主に母)暴言しか吐かなかった人なのに…今度 詳しく聞いてみよう。まあ同じく私もだったんだけど、理想通りではない34年目がもう直ぐ終わろうとしている今に思う事は、違う環境の背景を持つ二人が共同生活をする事がこんなにも大変だとは夢にも思わず(笑)そんな簡単に単純じゃなかったし、お互い相当な我慢と努力無くしては出来ない事だと知った。いろんな夫婦・家族の形があるし、理想も幸せも人それぞれだけど人生の終わりが来た時にも私は幸せだと言いたいし、パートナーもそうであって欲しいと思うのでその為に肩の力を抜きつつ努力し続けたいと思う出来事でした。ちなみに今は、母のために甲斐甲斐しく動く事が父の幸せになって居るようで、お世話されている母も幸せそうでした。

よしみ